

企業用済み↓授産施設↓学校

「みんなのお得」 パソコン再生

IT(情報技術)の知識を社会で生かそうと活動している高齢者集団「イー・エルダー」(東京都渋谷区)が、企業で不用になったパソコンを東京都江東区にある身体障害者の授産施設「ゆめ工房」で再生させ、非営利団体に寄贈する仕組みをつくった。月5千円程度だった障害者の収入が4万円に。「みんなが得をする仕組み。ここをモデルに、各地の障害者の施設に広げたい」と意気込む。

元IT技術者らのNPO

障害者施設でのパソコン再生作業の見学会。中古パソコンの提供企業に作業を説明する鈴木政孝さん(左から2人目) 〓東京都江東区のゆめ工房で



で出荷する。

携帯電話会社J・フォンは02、03年度で約1千台の中古パソコンを提供する。林義郎会長は昨年末にゆめ工房を見学した。「社会貢献はもちろんだが、この再生技術も提供の決め手だった。我々はお客様の情報を扱う。めったなところには出せない」と評価した。

イー・エルダーは、日人。日立やシャープ、日

昨年10月からは、再生作業の一部をゆめ工房に

1台あたり約8千円。ゆめ工房では13人が作業にあたる。責任者の田中秀樹さんは「パソコンが安定的に提供され、こちら

本IBMで社会貢献事業を担当していた鈴木政孝さん(2)たちが中心になり「シニアが社会を支えよう」と発足。00年に東京都のNPO(非営利組織)の認証を受けた。会

作業の一部をゆめ工房に発注することにした。ゆめ工房から「やりがいと安定的収入につながる仕事をしたい」と相談を受けたのがきっかけだ。

すことも可能」と話す。作業を担う1人、久保英俊さん(28)は「使うだけだったパソコンを作れるようになった。小遣いぐ

員は、横浜や仙台、大阪など六つの支部に120

ゆめ工房は、IBMから指導を受け、記憶装置

ら指を受け、記憶装置

98が動くパソコンで、IBMが中古パソコン提供

ゆめ工房は、IBMから指導を受け、記憶装置

ら指を受け、記憶装置

千台寄贈。小、中学校で

ゆめ工房は、IBMから指導を受け、記憶装置

ら指を受け、記憶装置

の部活動や、福祉団体の

ゆめ工房は、IBMから指導を受け、記憶装置

ら指を受け、記憶装置

に使われている。

ゆめ工房は、IBMから指導を受け、記憶装置

ら指を受け、記憶装置

8・3571へ。